

平成30年度 第3回 純正会地域包括ケア推進委員会 開催しました

今回は、ケアマネジャーの役割について学びました。ゲストとして中川区西部いきいき支援センターの社会福祉士の方が参加されました。

ケアマネジャーの役割は！

地域包括ケアを推進していくために、各部門の職種の役割を知る必要があります。

今回、居宅介護支援事業所太陽の主任ケアマネジャーの安藤さんがケアマネジャーの役割について講義してくれました。

ケアマネジャーの1ヶ月のスケジュールやアセスメント、ケアプラン、利用票の作成、担当者会議、モニタリング、給付管理などのケアマネジャーの動きについてわかりやすい講義でした。

参加者からは、「患者様が入院された時に送られてくる在宅情報は大変役に立つので早く送って頂けると連携がしやすくなる。」「訪問が多い事がわかり、ケアマネジャーに連絡しても事務所にいない事が多い理由がわかった。」「担当者会議や、給付管理のような事務作業も多く、何でもできないとケアマネジャーになれないと感じました。」などの感想がありました。

ケアマネジャーは在宅で療養している方の健康を維持し生活を守るお手伝いをする素晴らしい仕事です、介護保険では要の存在と言えます。

少しでもケアマネジャーの役割を知って頂きケアマネジャーを身近に感じていただけると嬉しいです。今回はMSWの役割を知り、さらに組織内の連携強化に繋げていこうと思います。

ケアマネジャーの役割をパワーポイントで利用し勉強している様子



事例検討「一人暮らしの高齢者が今後在宅で生活できるように支援するために」

今回の事例提供者は居宅介護支援事業所太陽の皆本さん。一人暮らしのAさん(95歳)は認知症ですが病識がありません。時々出掛けたまま家に帰れなくなることがあり周りが心配していました。家族は隣の区にいる弟さんだけです。弟さんは高齢で積極的な介護協力は期待できません。今は民生委員さんや地域の方が協力して何とか生活できていますが、今後いつまでこの生活が続いていけるか不安との事でした。

質疑応答では病棟看護師より「服薬管理はどうしているのか?」に対して「ヘルパーさんが声掛けをしているが上手くいかない。訪問看護の導入についても本人の拒否が強く、できていない。」「訪問看護の拒否に対して「本人自身が困っていないと感じているのと家に人を入れたくないという思いがあるからだと思う」との事。

MSWより「本人の性格は?」に対して「おおらかな性格だが自分の意に添わないことに対しては怒る。以前区役所に対して自分で苦情を言いに行ったこともある。」との事。訪問看護より「認知症の周辺症状は?」に対して「短期記憶の低下がある。今はレミールが処方されているが、専門病院に受診してないので確定診断はされていないがアルツハイマー型認知症であると思われる。」との事。

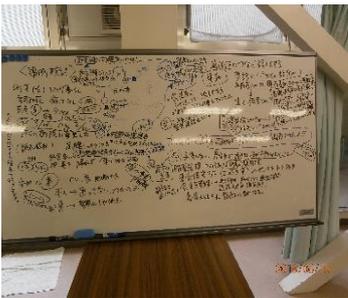
いきいき支援センター職員より「弟さんの思いや今後の関わりは?」に対して「弟さんもやれることはやるが本人の思いが強いので自分が言っても聞いてくれないと思う。何かあれば車で40分かけて来てくれるので、これからも関わる思いがあるのでは。」との事。

参加者でケースを整理しながらでた意見は「1週間にサービスマン利用がない日が2日ある。その2日に状態が悪くなる可能性がある。サービスマンの曜日変更を考えるとどうか。」「本人の希望は家で生活なので、本人の意思を尊重すれば良いと思う。本当はあってもいけない事だが家で亡くなりサービスマン事業所が発見することになって、それは1つのかもしれない。」「本人の人の痛みを受けたくないという思いを尊重すべき。」「95歳で今の生活ができることが素晴らしい。今後も周りのサービスマンを活用できれば在宅生活を継続できると思う。」などの意見がありました。

事例提供者の皆本さんは「本人の意思を変えることは難しい。弟さんも今の状態で、たとえ家で亡くなったとしても仕方がないと思ってる。困っているのは周りの事業所であって本人の意思を尊重すれば家で生活重すれば家での生活を継続できるよ。」「ケアマネジャーとして頑張っていないといけないと思う。」「前向きな感想をもらいました。」

も事例検討を重ねて地 これから地域で暮らす療養者の皆様が安心して生活できるように『支援する力』を培っていききたいと思えます。

使用したホワイトボード



2部会の開催！

今回の2部会は、地域の認知症専門病院が経営している認知症対応型通所介護の見学に行ってきました。

建物自体が回想法を取り込んでおり、昔ながらの木造の学校をイメージして建設されていました。利用者さん同士が落ち着いてすこざされてました。事業所は地域との関係を大切にしており、地域の方や利用者家族を招いてお祭りや、バーベキュー会を開いており、地域包括ケアを推進するうえで学ばべき事が多くありました。

地域との関わり強化！

委員会が立ち上がり半年が経過しました。少しずつ顔が見える関係ができ、日常業務の中でも連携する機会が増えてきました。

しかし、地域包括ケアを推進していくうえで、地域住民の皆様との関わりも同時に進行していかなければなりません。そこで、まだ内容は未定ですが、地域住民の皆様との交流ができるイベントの開催について考えていきたいと思えます。

次回の予定

日付	行事	場所
7月20日 13時半	MSWの役割	東洋病院